



国 地 域 情 報 :

### 3 . 組 成、成 分 情 報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名	ロソソ	イソプロピルアルコール	活性剤
含有量 (wt%)	8 ~ 14	80 ~ 90	1 ~ 3
官報公示整理番号	7-937	2-207	-
CAS No.	65997-06-0	67-63-0	-
EINECS	266-041-3	200-661-7	-
輸出統計品目番号	3806.20.000	2905.12.000	-
IMDG	-	3.2	-
国連分類	-	3	-
国連番号	-	1219	-
PRTR 法	非該当	非該当	非該当

### 4 . 応 急 処 置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で最低15分以上洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗浄後、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染衣服は直ちに脱ぎ、多量の流水で触れた部分を十分に洗い流す。必要に応じ医師の手当を受ける。
- 吸引した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し安静に努め、速やかに医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中をよく洗浄させる。無理に吐かせず、速やかに医師の手当を受ける。
- その他 : 暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の手当を受ける。

### 5 . 火 災 時 の 処 置

- 消 火 剤 : 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡等
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 特有の危険有害性 : 引火性の高い液体。蒸気を吸入すると麻酔薬として働き、繰り返してさらされた場合、粘膜への刺激、めまい、感覚鈍麻、頭痛などを起こす。
- 特有の消火方法 : 初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場所は、容器及び周辺に散水し冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

### 6 . 漏 出 時 の 処 置

作業の際は保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入したりしないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源を取り除く。関係者以外の立ち入りを禁止する。少量漏出の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量漏出の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。漏出液を下水や側溝等に流してはならない。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取 扱 い : 火気、衝撃火花などによる着火源を生じないように注意する。吸入を防ぎ、眼、皮膚との接触を避ける。必要に応じて保護具を着用し、換気の良い場所で風上から作業する。密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。
- 保 管 : 容器を密閉し、換気の良い冷暗所に施錠して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. 暴露防止および保護処置（イソノールアルコールの情報を記載）

- 管 理 濃 度 : 200ppm
- 許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 400ppm  
ACGIH TLV 400ppm
- 設 備 対 策 : 室内での取扱いの場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。
- 保 護 具 : 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

## 9. 物理的および化学的性質

- 外 観 等 : 淡黄色透明液体
- 臭 い : アルコール臭
- p H : 情報なし
- 融 点 : -89
- 沸 点 : 82
- 引 火 点 : 11.7 (タグ密閉式)
- 爆 発 限 界 : 2.0~12.7Vol%
- 蒸 気 圧 : 43.2hPa (20 )
- 蒸 気 密 度 : 2.1 (空気=1)
- 比 重 : 0.815 (20 )
- 溶 解 度 : 水;一部不溶 其他;種々の有機溶剤と自由に混合
- n-オクタノール/水分配係数 : 情報なし
- 自然発火温度 : 460
- 分 解 温 度 : 情報なし

## 10. 安定性および反応性

- 安 定 性 : 通常状態では安定である。
- 反 応 性 : 強酸化剤と反応する。
- 避 け る べ き 条 件 : 高温、酸化剤
- 混 触 危 険 物 質 : 強酸化剤
- 危 険 有 害 な 分 解 生 成 物 : 一酸化炭素等

## 11. 有害性情報（イソノールアルコールの情報を記載）

- 急 性 毒 性 : 経口ラット LD<sub>50</sub> 3,437mg/kg
- 皮 膚 刺 激 性 : なし
- 刺 激 性 ( 眼 ) : ウサギで軽度から重度の刺激性の報告がある。
- 感 作 性 : 情報なし
- 生 殖 細 胞 変 異 原 性 : なし
- 発 がん 性 : なし
- 生 殖 毒 性 : マウス骨髄細胞で陰性の報告がある。
- 特 定 標 的 毒 性 / 全 身 毒 性 : ヒトで中枢神経系及び腎臓の障害、全身毒性の報告がある。  
(単回暴露) ヒトで気道刺激性の障害の報告がある。
- 特 定 標 的 毒 性 / 全 身 毒 性 : ラットで血管、肝臓、脾臓に悪影響の報告がある。

(反復暴露)

呼吸性呼吸器有害性 : ラットで気管支内投与により心肺停止の報告がある。

## 1 2 . 環境影響情報

魚 毒 性 : 魚 (fathead minnow) LC<sub>50</sub> / 96hr 11,130mg/L  
分 解 性 : 生分解性良好。  
蓄 積 性 : 情報なし

## 1 3 . 廃棄上の注意

内容物や容器を指定廃棄物処理業者に産業廃棄物として委託する。

## 1 4 . 輸送上の注意

国 連 分 類 : クラス 3  
国 連 番 号 : 1866  
陸 上 輸 送 : 消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。  
海 上 輸 送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。  
航 空 輸 送 : 航空法の定めるところに従うこと。

## 1 5 . 適用法令

消 防 法 : 危険物第 4 類第 1 石油類  
P R T R 法 : 非該当  
労 働 安 全 衛 生 法 : 施行令第 1 8 条 名称等を表示すべき有害物  
施行令第 1 8 条の 2 名称等を通知すべき有害物  
令別表第 1 危険物 (引火性の物)  
有 機 溶 剤 中 毒 予 防 規 則 : 該当  
船 舶 安 全 法 : 危規則第 3 条危険物 引火性液体類  
航 空 法 : 施行規則第 1 9 4 条危険物 引火性液体  
港 則 法 : 施行規則第 1 2 条危険物 引火性液体類  
輸 出 貿 易 管 理 令 : 非該当

## 1 6 . その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は、通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。